LED表示板設置の社会実験

実験の概要について





【参考】過年度(R3)の成果



LRT導入前にLRT軌道により車線が減少する鬼怒通り(県道宇都宮向田線)周辺道路で、 今回の社会実験同様の民間プローブデータを用いた所要時間情報の提供

第1回協議会資料

LED表示板の設置箇所の検討について

資料4

計6箇所でLED表示板により 経路ごとの所要時間情報を提供

交通流の変化を分析



LED板設置状況



事前アンケートによる社会実験への留意点



2 通勤者へのアンケート調査について

第5回協議会資料

- ■アンケート調査結果より
- 鬼怒通りは、両工業団地において渋滞時に迂回する可能性がある方の通勤経路
- LED表示板設置に関する周知不足、設置場所や箇所数の改善を求める意見あり
 - ▶ 社会実験前の事前周知の強化、設置数の増などを検討
- LRTの動き等に関して運転時に不安を感じている方もいる。

- □今年度の社会実験の必要性について
- 過年度の結果からLED表示板での迂回誘導は一定の効果を確認。
- 一方、新たに導入されたLRTの動きに関して運転時に不安を感じる方もいる中、 LED表示板での渋滞情報の提供だけで同様に平準化を図れるか確認が必要。



3 LED表示板設置の社会実験計画案について

第5回協議会資料

- 設置位置
 - ➤ 経路A: 鬼怒通りと白楊高通り(泉が丘通り)との分岐から白楊高通り元今泉町交差点まで
 - ➤ 経路B: 鬼怒通りと白楊高通り(泉が丘通り)との分岐から鬼怒通り東宿郷交差点まで



- 運用期間
 - · 令和 5 (2023)年12月 4 日(月)~令和 6 (2024)年 1 月26日(金)予定
 - ・年末年始は休止予定
- 表示内容
 - ・経路Aと経路Bの旅行時間を表示
- 改善点
 - ・事前周知として各工業団地関係者へ案内を依頼
 - ・迂回案内する箇所を限定的にわかりやすい案内の実施
 - ・LED表示板を目立たせるため立て看板を増設

あらかじめ指定した経路について直前の所要時間を計算し、仮設表示機に定期送信する。 カーナビで経路案内をしていない車両にも周辺の交通情報を提供可能。







改善① 事前周知として各工業団地へ周知を依頼

周知のためにチラシを配布

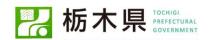




改善①プラス SNSの活用による社会実験の情報発信

X (旧twitter)で情報発信





改善② 迂回案内する箇所を限定的に分かりやすく

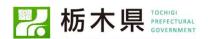
R3 (6箇所に設置)の社会実験の効果検証を踏まえ、 LRT導入の影響を最も把握できる1箇所に限定

● 設置位置

➤ 経路A: 鬼怒通りと白楊高通り(泉が丘通り)との分岐から白楊高通り元今泉町交差点まで

➤ 経路B: 鬼怒通りと白楊高通り(泉が丘通り)との分岐から鬼怒通り東宿郷交差点まで





改善③ LED表示板を目立たせるために立て看板を増設

